

## 【家庭教育支援チーム】

<b>チーム名 (呼称)</b>	稲沢市家庭教育支援チーム (呼称: 稲沢子育てサポートネット ) URL:2015年4月に開設予定
<b>活動開始年度</b>	平成12年度
<b>活動拠点</b>	稲沢勤労福祉会館・稲沢保健センター
<b>活動範囲</b>	稲沢市内全域、尾張地区
<b>活動財源</b>	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (行政と連携しての事業 )
<b>組織体制</b>	13 人 子育てネットワーク13人(元教員 1人、教員 1人、保育士 4人、 元保育士 2人、子育て支援センタースタッフ 2人)
<b>具体的な活動内容</b>	・親子ふれあい広場 (企画・運営・講師) 

・すくすく広場(親子遊び等の提供)



・子育てセミナー(講師)

・教育講演講師

・尾張地区子育て支援地域交流会



・子育てネットワーカー養成講座(講師)



- ・子育て相談
- ・子育て支援学習会

活動を通して感じていること  
(成果、課題など)

- ・ふれあい広場・すくすく広場は参加者に好評であり、親子遊びを楽しむ・子育て情報の交換・子育て仲間づくり等を通して、母親の子育て不安の解消に役立っていることが、アンケートより成果としてあげられる。
- ・日曜日に講座を開催することで、父親が他の多くの赤ちゃんや父親と接触し交流することができ、父親の子育てへの良い刺激になっている。
- ・子育て支援が、サービス提供だけにとどまらないよう、親自身の力を引き出す支援でなければならないと感じる。
- ・人と繋がるのが苦手な親が増えている。きっかけを上手く提供するなど親を繋ぐ支援者の役割が求められていると感じる。
- ・講座の参加者の子育て環境・子育ての実態・子育て意識などを調査し、地域にあう子育て支援を検討するために、結果を分析中である。